



北川まち子通信

羽咋市議会議員(日本共産党)

昨年の市議会議員選挙では、みなさんのあたたかいご支援に支えられ、4年ぶりに議会へ戻ることができました。改めて心より感謝申し上げます。再びこうして市政に関わる機会をいただいたことに責任の重さを感じながら、一つひとつの課題に丁寧に向き合っていきたいと思っています。

これからは、議会での取り組みや市政の動きについてお伝えしていきたいと考え通信を再開することにしました。日々の暮らしに関わる大切な内容を、少しでも身近に感じていただければ幸いです。



【3月議会の概要】

羽咋市議会第1回定例会は、2月27日から3月19日まで開催されました。令和8年度の当初予算は、震災に関わる予算を含む総額308億4,410万円となり、これまでで最も大きな規模となりました。市民税・法人市民税の増収や災害に対する国庫負担金などが増えたことが背景にあります。

市民のみなさんから提出された請願については、「核兵器禁止条約への参加を求める意見書」は残念ながら採択には至りませんでした。また、「OTC類似薬の保険適用除外に反対する請願」や「補聴器購入への助成を求める請願」は、引き続き審査が続けられることになりました。市民の声がどのように市政に反映されていくのか、今後も注視していきたいと思えます。



【主な質問と市の対応】

■介護事業所への支援について
介護の現場では、慢性的な人手不足と経営の厳しさが続いています。国による処遇改善は行われているものの、他の職種と比べると賃金にはまだ大きな差があり、十分とは言えない状況です。さらに、ガソリン代や物価の上昇も重なり、現場の負担は大きくなっています。

こうした状況を踏まえ、市としての支援を求めたところ、令和8年度から、介護支援専門員の研修費用の一部助成や、職員を採用した事業者への補助制度を新たに実施するとの答弁がありました。現場を支えるための一歩として、今後の効果が期待されます。

■被災者の医療費負担について
能登半島地震から3年目を迎えました。復旧・復興に向けた取り組みが進む一方で、生活再建の途中にある方も多く、引き続ききめ細かな支援が求められています。

特に、医療費の負担は日々の暮らしに直結する大きな問題です。昨年6月で終了した医療費窓口負担の免除制度について、再開を求める声も多く寄せられています。議会では、市から県に対して再開を要請するよう求めましたが、市は現時点ではその考えはないとのことでした。引き続き、安心して医療を受けられる環境づくりが必要だと感じています。



■国民健康保険税について

国民健康保険税は5年連続での引き上げとなり、今年度分は世帯平均で年間8,200円の負担増となります。物価の上昇が続く中で、家計への影響を心配する声も少なくありません。市に対しては、積み立てられている基金（貯金）を活用すれば、国保税の引き下げは十分可能であると求めました。

また、今年度より、新たに子ども・子育て支援の財源となる支援金分も加わり、さらに国保税を引き上げることになりました。このことも、子育て支援金はこれから3年間にわたり毎年引き上げられることになっており、今後も丁寧な対応が求められます。

■補聴器購入への助成について

加齢による難聴は、会話のしづらさや外出機会の減少につながるなど、生活の質に大きく影響します。また、認知症との関連も指摘されており、早めの対応が大切とされています。

全国ではすでに多くの自治体で補聴器購入への助成が行われていますが、羽咋市では制度化されていません。

市は「重要な課題」としながらも、対象や基準の整理が必要としており、現時点では導入には至っていません。市民からの請願も継続審査となっており、引き続き前向きな検討が進むよう働きかけしていきます。

■志賀原発と防災について

国土地理院が、志賀原発の敷地内に活断層がある可能性を指摘したことを受け、市の受け止めについて質問しました。市長は、これまでの関係機関の見解に触れるにとどまり、明確な評価は示されませんでした。

また、能登半島地震では、道路の寸断や孤立地域の発生、屋内退避施設の損壊などさまざまな課題が明らかになりました。原発と地震の複合災害時に羽咋市民2万人が避難できるでしょうか。明確な答えはありません。

地震大国日本において、原発事故の危険性はなくなりません。羽咋市は、国と北陸電力に対して志賀原発の再稼働の中止を求めるべきです。

■憲法と平和について

【北川】高市総理は憲法「改正」に強い意欲を示していますが、憲法の平和主義について市長の認識を伺います。

【市長】憲法9条は、戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権否認の規定が置かれているところであり、悲惨な戦争を体験いたしました我が国においても、二度と戦争を起こしてならないと考えます。最近の海外の戦争で、全く罪のない人達が戦争に巻き込まれている状況に心が痛みます。

一方で、仮に他国が日本に危害を与える状況になれば、自衛することも必要です。いずれにしても、憲法9条の対応については、国民の総意で決めていくことが必要だろうと考えております。



原爆写真展 コスモアイルにて

【おわりに】

今回の議会を通して、物価高騰や震災からの復旧・復興など、市民生活に直結するさまざまな課題があることを改めて実感しました。一つひとつの課題は決して小さなものではありませんが、みなさんの声に耳を傾けながら、少しでも前に進めていくことが大切だと思っています。

これからも、市民のみなさんに寄り添いながら、安心して暮らせるまちづくりに向けて取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



柳橋交差点にて宣伝行動